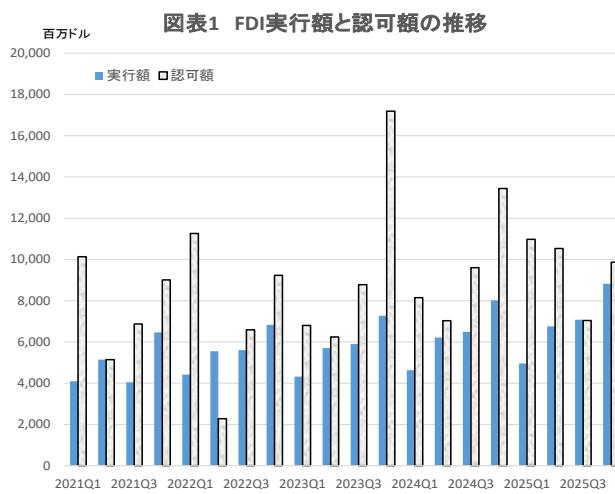


ベトナムのFDIの動向(2025年10-12月期)

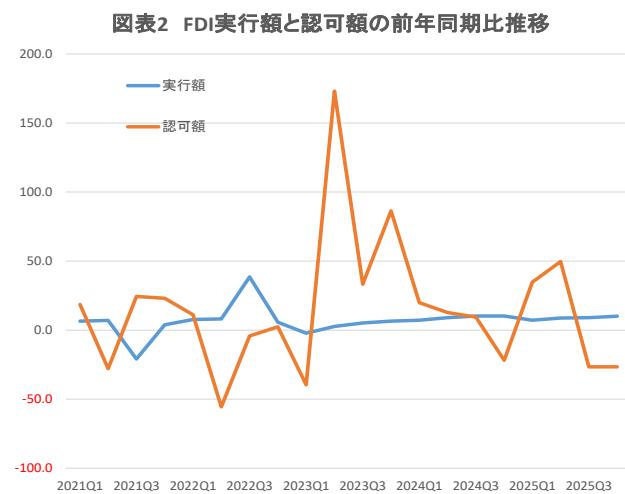
《2025年10-12月期のFDI認可額は前年同期比26.6%減》

ベトナムの2025年10-12月期のFDI(Foreign Direct Investment)の略で海外資本のベトナム国内への直接投資を意味する)の実行額(推定値、以下同様)は前年同期比10.0%増の88.2億ドルで、安定した拡大基調が続いているようだ。混乱する海外情勢を受けて、過去に認可を受けた案件の執行を慎重に進めている状況が続いている。実行額の先行指標である認可額は、同26.6%減の98.7億ドルだった。過去に認可を受けた案件の進捗ペースが緩やかになっているため、新規の認可案件は停滞したとみられる。ただし、2025年10-12月期の認可額の水準自体は過去の実績に比較して特に低い水準というわけではなく、認可額自体が大規模案件の有無で振れが大きくなることなどを考慮すると、この停滞を海外企業のベトナムへの直接投資に陰りが出ているとみる必要はないだろう。

ベトナムの輸出は最先端データセンター向けの情報機器を中心に極めて好調な状況が続いている。高関税や安全保障上のリスクを回避するため、中国などの地域からベトナムへ生産を移転させるケースが増加していることに加え、迂回輸出認定を回避するためにベトナム国内で付加価値を高めるという動きが、輸出の拡大に繋がっている模様である。付加価値を高めるという動きには、ベトナム国内で技術開発や製品設計を行うだけではなく、主要部品等をベトナムで生産することも含まれている模様である。その結果、台湾や韓国の中小・中堅企業のベトナム進出が顕著になっており、2025年の新規認可案件数は前年比20.1%増の4,054件に達している。また、進出を急ぐためにM&Aも増加しており、2025年の外資企業によるベトナム国内企業の買収金額は同54.8%増の70.3億ドルとなっている。この動きはまだ緒に就いたばかりであり、ベトナム政府の規制緩和や許認可手続きの簡素化の動きも併せて考慮すると、再びFDI認可額が大きく増加する可能性は十分に残っていると考えられよう。また、このような動きが他の製品分野にも広がる可能性にも留意する必要があるだろう。リスク要因は景気の減速だが、貿易シェアの拡大や高付加価値化のバッファーがあることがベトナムの強みとなるだろう。



注 Q1は1-3月期、Q2は4-6月期、Q3は7-9月期、Q4は10-12月期を表している
出所 各種資料をもとに当社作成



注 Q1は1-3月期、Q2は4-6月期、Q3は7-9月期、Q4は10-12月期を表している
出所 各種資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会
主な事業 金融商品取引業

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20260114

本資料は情報提供目的としたものであり、投資勧説目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。